

令和6年度（2024年度） 第2回 特別史跡五稜郭跡保存整備委員会会議録

開催日時	令和6年（2024年）10月29日（火） 14時40分～16時30分（現地視察 13：30～）
開催場所	函館市役所 5階 教育委員室 （現地視察：特別史跡五稜郭跡）
議 題	（1）令和6年度事業報告 ① 石垣修理（堀内周南東側） ② 石垣補修（堀内周西側） ③ 石垣定点調査 ④ 整備報告書 （2）協議事項 ア.令和7年度事業計画 ① 石垣修理（堀内周南東側） ② 石垣補修（堀内周西側） ③ 石垣定点調査 ④ 保存活用計画 イ.その他
出席委員	榎森進委員 西村幸夫委員 田才雅彦委員 麓和善委員 北野博司委員 (計5名)
オブザーバー	北海道教育庁 内田和典主任 (計2名)
事務局	教育委員会 生涯学習部次長 文化財課長 文化財課文化財担当主査 文化財課文化財担当主事 土木部 公園河川整備課主査 公園河川整備課主任技師 (計6名)
コンサル	(株)空間文化開発機構 田口直人研究員 (株)ノース技研 3Dソリューション係 加埜将士係長 同 3Dソリューション係 西村亮太主任 (計3名)

開 会

	○事務局挨拶 生涯学習部次長
	○出席者紹介 委員・オブザーバー・事務局

議 事

(1) 令和6年度事業報告

文化財課 文化財担当主査	≪ ① 石垣修理（堀内周南東側）について説明 ≫
麓座長	崩落した堀内周南東側石垣修理のための予算を確保したとの報告があった。特に委員からの意見はないようなので、工事に着手してほしい。
文化財課 文化財担当主査	≪ ② 石垣補修（堀内周西側）について説明 ≫
麓座長	石垣補修の予算規模について確認したい。
文化財課 文化財担当主査	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業については、報告書作成、石垣補修で560万円修理、うち石垣補修にかかる予算は170万円余りとなっている。
麓座長	170万円余りの予算でできる範囲で補修を実施しているということは了解した。
文化財課 文化財担当主査	≪ ③ 石垣定点調査について説明 ≫
麓座長	資料では、4箇所（洗堰・堀排水口部、堀内周北側・裏門橋横、堀外周北東側、堀外周東側）で実施することになっているが、どう違うのか。初期計測とはどういうものか。
文化財課 文化財担当主査	洗堰・堀排水口部については、工事実施箇所の安定度の確認、その他の箇所については、崩落危険箇所である。1回目のレーザーの計測という意味で初期計測という言葉をしており、2回目以降に計測した場合は、前回との比較が可能となり、差分データによる積み出し量図や色分け図が出てくる形になる。 一応の5か年計画を示したが、石垣の状態が変わることもあるので、優先すべき事項が出てくれば、実施箇所を組み替えるなど柔軟に対応するようにしたい。
麓座長	④整備事業報告書にかかる審議については、事前に報告書（案）が各委員に送付されているので、目を通している前提で進める。

文化財課 文化財担当主査	« ④ 整備報告書について説明 »
麓座長	委員の指摘が十分反映され修正されているか、両委員からご意見をいただきたい。
北野委員	私の指摘は2点とも反映されている。
田才委員	私の方から何点か確認と修正をお願いしたい。まず、「1 五稜郭跡の位置と環境」(1ページ)で、なぜ五稜郭がこの低地に築かれたのか、立地、地形、地質的な部分の説明がほしい。本来こういう砲台を持つ場所は見晴らしのいい高所に造るはずである。 二番目に土塁と本塁、水堀と掘割という言葉が使われているので用語の整理、統一をして、五稜郭の構造図と対応するように整理してほしい。図が小さくてよく見えず、内堀などどこを指しているかよく分からないので、この図は大きくして見えるようにすれば良い。 さらに、(西洋の)稜堡式城郭を元にという部分で、五稜郭跡はその中心部分に相当すると書かれている。ここは意味がとれないがどういう意味か。
文化財課 文化財担当主査	一般的な稜堡式城郭は、(五稜郭様の堡塁の)外に稜堡が多重に築かれていくものと認識している。そういう意味で、五稜郭跡が完全な稜堡式城郭といえるのかという部分があると思う。外側がない真ん中の部分という意味で訂正をした。
田才委員	一般の人には読み取れないと思うので、書き方を変えた方が良い。同じ頃に造られた類似のものとどう違うのかも含めて、五稜郭の意味づけをもう少しきちんとしていただきたい。その他の文言の関係は、後ほど事務局にお渡しするので、確認してほしい。 それから3ページ目、概要の前にこの整備に至る経過を書いていただきたいのと、日常的維持管理の内容を伝えてほしい。 確認だが、公園整備として、年間の日常管理にどのくらいの予算をかけているのか。
文化財課 文化財担当主査	五稜郭公園の維持管理は、他の公園と一括の委託、北部公園管理事務所への委託となっているので、五稜郭跡だけの維持管理費を正確に把握はしていない。
田才委員	一度確認してほしい。史跡としての日常的維持管理に一体いくらかかっているのか、それは史跡としての管理を考えたうえで、函館市としてバランスはいいのかを考えていただきたい。 今日も(現地視察で)落ち葉を一生懸命掃除していたが、その予算はあるのに、堀の木を切ることができていない。

	特別史跡としての五稜郭跡あってこそその公園だと思うので、もう少し力の入れ加減を、市として考えていただきたい。
文化財課 文化財課長	整備事業報告書は、主に国庫補助事業について記載している。その中で書ける部分は書き込む。 また、経過の部分については、序文にこれまでの石垣診断の状況や計画作り、報告書の発行など、ある程度は書いているが、それ以外に少し深めて書くということか。
田才委員	今まで、これまでの事業を通して知る機会がなかったと思うので、一度整理して、これまでのどういう経過の中で今に至ったのかを簡潔に記載してほしい。
西村委員	これも報告書に書くべきことではないとは思いますが、都市公園としての整備と特別史跡としての整備との摺り合わせをどうするか、我々にも分かるように説明してほしい。 今日の現地視察でも土塁から降りる階段で、崩落地に近いところまで近づけるので危険だという話もあった。 階段は公園の中の周遊を目的に、都市公園として整備していると思う。公園としては良いが、史跡としては困った状況も出てくる。 （堀の）木を切るにしても、公園管理として予算があり、理屈がつくのであれば、公園管理の中で木を切ってもらう。知恵を働かせ、うまく役割分担したい。担当部局は別だが、お金が投入されているので、それぞれ有効に活用してもらえるように考えていただきたい。
文化財課 文化財担当主査	今回の報告書の位置づけは、概要を序文で触れ、今後については179ページにまとめ、保存活用計画につなげることを打ち出している。 田才委員と西村委員のご指摘は、保存活用計画につなげるために必要な部分、それ自体が保存活用計画の検討の中で議論して決めていく部分でもある。 まず、事務局でこの報告書で表現すべきこと、次の保存計画に向けて項目として取り上げるべきことを整理させていただく。
西村委員	それで構わない。180ページに計画の策定と書いてあるので、そこで課題を示し、それを議論することを書けば良い。史跡としてだけでなく、都市公園としても議論できるように、簡単な方向性を示しておけば良い。
北野委員	整備事業の報告書ではあるが、通常石垣の解体修理事業のなかで発掘調査をした部分は、発掘調査報告書を作成する。今回、函館市ではこの整備報告書とは別立てで発掘調査報告書を刊行する予定があるのか。ないとしたら、この整備報告書の中に写真や遺構の報告を載せ

	て発掘報告書の要素を盛り込むことになる。
文化財課 文化財担当主査	« 平成 23 年度以降令和 4 年度までの発掘状況を説明 »
道教委主任	発掘調査結果の掲載について、市と具体的な話はしていないが、整備に至る経過や平成 23 年度から令和 5 年度までの内容が、この整備報告書 1 冊を見れば分かるようにしてほしい。そうすると関連する発掘調査は重要な情報を含む。この報告書の中でもいくつか図面が掲載されているが、層位についての説明が抜けている。石垣の修理にかかる報告しかないので、遺構や遺物の情報を盛り込むべきところには入れるべきだ。
北野委員	そのあたりの位置づけが不明確なままとなっている。修理については、かなり細かい図版データも掲載されているが、中途半端な部分もある。市で新たに発掘調査報告書を出す体制を組んで、予算的に可能なのであれば、それでも良いが、現実的には難しいので、この報告書の中に出土品や遺構の情報を盛り込んで、発掘調査報告書も兼ねる、文化庁の了解を取れるのであれば、そのようにしても良いので事務局で整理してほしい。
田才委員	本来的には発掘調査報告書は別に出してもらいたい。発掘担当者等の情報もない、そこも含めて整理してほしい。
文化財課 文化財課長	会議資料の発掘調査概要で示したが、しっかりとした調査を行っている箇所もあれば、石垣の状況調査時に、立会いのような形で簡易に実施した年もある。調査に濃淡があるので、しっかりとした調査を実施し、結果が出ている部分は、なるべくこの整備報告書の中に盛り込めるように整理をしたい。
田才委員	発掘する立場から、誰がどのように発掘したかは確実に把握しなければならない。この整備事業報告書に盛り込むのは大変だと思うが、担当者が誰で、どのような目的で、どのように調査したのかがきちんと分かるようにしてほしい。
道教委主任	整備報告書に盛り込む内容としては、本当に必要なところぐらいしか触れられないと思う。
田才委員	わかりました。
北野委員	刃金板や堰板は分析して樹種同定したので、別に発掘調査報告書を作る場合は、その報告書で整理しても良いが、そうでない場合はこの整備報告書で記載してほしい。
田才委員	例言で、本誌の作成編集は函館市が責任をもって対応していることを書くことと、発掘調査報告書の内容を加えるのであれば、発掘担当

	の者がその部分を執筆していることが分かるようにすべきだ。
麓座長	スケジュール的に、大幅な加筆は非常に困難だと思う。指摘については、可能な範囲での修正をする。さらに、補助事業として認められるかは分からないが、整備報告書とは別に発掘調査報告書を作成するかどうかの検討が必要だ。 あとは、最近の研究成果を生かして記載したのであれば、参考文献を書いて欲しい。それと、次は修正した箇所について、指摘に従って修正した部分分かるようにして送ってほしい。
道教委主任	整備事業報告書ではないが、今年度の補助事業は、整備報告書と石垣補修で 560 万円、石垣修理は 3,235 万 5 千円だが、この書き方では全部含めて 1 つの事業に見える。3 次交付で受けた、修理事業については、文化庁としては別予算となるので、実績報告時には注意してほしい。
文化財課 文化財担当主査	わかりました。
麓座長	(1) 令和 6 年度事業報告が終わったので、(2) 協議事項の「ア. 令和 7 年度事業計画」のうち、①石垣修理について、説明をお願いしたい。

(2) 協議事項

ア. 令和 7 年度事業計画（非公開）

イ. その他（非公開）

閉会

文化財課 文化財主査	以上をもって、令和 6 年度第 2 回特別史跡五稜郭跡保存整備委員会を終了する。
---------------	--